

服用される前に必ずこの文書をお読みください。また、薬とともに大切に保存してください。



鎮 痛
解 熱 薬

ヘダパウダー

【この薬の特徴】 本剤は大正時代より製造販売をしている家庭用常備薬です。散剤なので早く吸収され即効性を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる。

- 次の人は服用しないこと。
 - 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
 - 15歳未満の小児
 - 出産予定日12週以内の妊婦
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと。(眠気があらわれることがある。)
- 服用時は飲酒しないこと。 5. 長期連用しないこと。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
 - 医師又は歯科医師の治療を受けている人
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人
 - 高齢者
 - 本人又は家族がアレルギー体質の人
 - 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
 - 次の診断を受けた人：心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること。
 - 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	皮 膚	消 化 器	精神神経系
症 状	発疹・発赤、かゆみ	悪心・嘔吐、食欲不振	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群) 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

- 5～6回服用しても症状がよくなる場合

【成分と働き】 1 日量（3 包 2.3g）中

成 名	分 量	成 分 の 働 き
アスピリン	900mg	中枢性の鎮痛解熱作用に加え、末梢に作用して痛みの症状を鎮めるとともに抗炎症作用をあらわします。
アセトアミノフェン	600mg	痛みや熱の中枢に作用し、鎮痛解熱作用をあらわします。
無水カフェイン	200mg	痛みを抑える成分の働きを助け、頭痛を和らげます。
プロモバレルิล尿素	200mg	鎮静作用により、鎮痛効果を高めます。

添加物として乾燥水酸化アルミニウムゲル、乳糖水和物、パレイシヨデンブンを含有する。

【効能・効果】

1. 頭痛、歯痛、抜歯後の疼痛、咽喉痛、耳痛、関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛、肩こり痛、打撲痛、骨折痛、ねんざ痛、月経痛（生理痛）、外傷痛の鎮痛
2. 発熱・悪寒時の解熱

【用法・用量】

1. 大人（15歳以上）1 回 1 包、1 日 3 回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用する。水またはお湯と一緒に服用すること。服用間隔は 4 時間以上おくこと。
2. 15 歳未満の小児は服用しないこと。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。（誤用の原因になったり品質が変わることがある。）
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

【お客様相談窓口】 電 話 095-822-2861 Fax 095-822-9225

製造販売元 平坂製薬株式会社 長崎市金屋町 9 番 23 号 〒850-0037
ホームページ <http://www.hirasaka.co.jp/>

【包 数】 15 包入り、30 包入り、65 包入り

この薬以外に、全国各地でご愛用いただいている「洋薬、生薬配合の鎮咳去痰薬・コーフパウダー」と、「眠気が少なく、口の渇きが少ない平坂の鼻炎薬 D」を一度お試しください。各地の薬局、薬店で販売しております。

ご家庭にぜひご常備ください。安心をもたらします。

平坂製薬株式会社の販売網



お求めは、お近くの薬局、薬店又は上記・平坂製薬㈱までお問い合わせください。